

(第2号様式)

嘉手納第 2530 号
令和7年 3月7日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立嘉手納高等学校
校長 平良 博志
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月17日	場所	介護実習室	出席 状況	2人
第2回	日時	令和6年12月18日	場所	介護実習室	出席 状況	3人
第3回	日時	令和7年2月26日	場所	介護実習室	出席 状況	3人

2 学校評議員に求めた事項

地域で活躍されている方の立場から、本校と地域との絆づくりについての助言。福祉について豊かな経験、知識を有する方からの助言。また、地域行政に詳しく、地域連携、本校の活性化についての助言等を依頼した。

3 学校評議員の意見

・ウエイトリフティング部などの部活生の活躍が目覚ましい。もっとHPやSNSなどで発信してもよいと思う。
・総探等、大学のゼミのようなスタイルが良い。オンライン学習的な取り組みも可能か。
・総合学科発表会は素晴らしかった。生徒達の進路や夢をサポートしているのが伝わった。
・騒音は何かならないものか。授業の妨げになっていて生徒が可哀想。防衛局へ要望するなどできないか。
・年々生徒対応が難しくなっているのではないか。外部から負担軽減のための支援を受けることはできないか。

4 学校運営に反映した事項

・Instagramを活用して学校行事の取り組みをこまめに発信している。同時にHPでの発信も行っている。
・総合学科発表会の充実に向け、取り組み時間やリハーサル機会の確保を行い内容のブラッシュアップを図った。
・各種支援員の申請を行い、現在、教員業務支援員、特別支援教育支援員、学習支援員、日本語支援員などが配置されている。

5 課題その他

・総合的な探究の時間に関して、取組手順や方法、取組内容について改善が必要である。
・働き方改革の推進。業務の多忙化の解消を図るため、校務の精選を促進していく必要がある。
・学校広報活動の強化。総合学科の魅力・特色を幅広く発信していく必要がある。